

梅の里



運動会 19日(土)への延期について

上伊那圏内では新型コロナウイルスに係る感染レベル5・特別警報Ⅱが発出されました。校内の教育活動実施基準にも照らし合わせ、運動会の延期を決定いたしました。この19日に各種スポーツ大会等の予定を計画していたご家庭もあったかと思えます。事前に相談することもできず、この大会に向けて練習してきた子どもたちのことを思うと申し訳ない気持ちでいっぱいです。

そんな苦渋の決断をした中で、子どもたちの中には前向きに捉えてくれる子もいます。ケガが完治せず見学予定だった友だちが参加できるようになったことを喜ぶクラス、練習時間がまだ取れることで「もっと完璧にすることができる!」と張り切っている学年…。もちろん運動会に対して苦手意識を持っている子にとっては延期することでさらに嫌な気持ちを増幅させてしまうことになったかもしれません。

527名の子どもたちが、最終的に「がんばれたよ」「来年は…」「友だちってありがたいな」「お家の方、ありがとう」という気持ちになってくれるよう、これからの時間を大切に過ごしていきたいと思います。

事前に協議の場を設けることは難しく、今後もこのようなケースが増えてくることが予想されます。予定の変更については、できるだけはやく情報をお伝えしたいと思っております。ご理解ご協力をお願いいたします。

初めてのラジオ体操



バトンパスは難しい!

【運動会についての確認(再掲)】

- 今後の感染状況により、ご家族の出席人数の制限があるかもしれません。
- 気温が高くなることも予想されます。開始時間を8:00としております。また、低学年の種目を先に行う等プログラムの変更も検討していきます。
- 前日準備のため、18日(金)の下校時刻は、1~5年

生が14:00前後の予定(低学年は眼科検診終了後)。6年生と金管バンドは15:20を予定しております。

*当日は駐車場のことでご不便をおかけします。ご協力をお願いします。なお、どうしても困ったケースがありましたら学校(教頭)までご相談ください。



健康サポーター任命式(5年)



白毛餅の苗を植えました(5年)



今年もたくさんの梅を収穫(2年)



職員研修(英語)



フールの生き物を救え!(4年)



強風大雨による地区別下校

【令和3年度 PTA 会長の挨拶】 「今、子供たちに何を伝えることができるか。」

新型コロナウイルスが広がり始めてから、行動や活動が大きく制限され、子供たちにとってはこれまでは当たり前でできていたはずの経験ができないまま時間が流れています。

私たち大人にとっては、そんなコロナ禍をじっと我慢して過ごしていくことも、一つのやり方としては、ありかと思いますが、子供たちにとっては、実は、じっと何もせずに過ごしていくことは、とてもマイナスなこととなります。なぜならば、日本においては小学校、中学校という義務教育の期間が過ぎれば、一人の人間として社会に出ることとなるからです。大げさだと思うかもしれませんが、これが案外そうなのです。例えば、高校生ともなれば、自分専用のスマホを持ち、電車に乗って出かけるわけです。ネット社会はどこまでもつながる大人の社会です。親に聞いても使い方は…？…となることがよくある話です。昔より難しい社会です。その中で行き先を見極めて判断していくのは自分自身となるわけです。

過去においては、義務教育を終えるまでに、学校での勉強をはじめ、課外活動や部活動、学校行事や児童会、地区行事など、先輩・後輩との交流、地域の人たちとのお付き合いなど、一般的な社会の仕組みと流れの中で知らず知らずのうちに社会へ出るために必要となる人格を形成できていたのです。

それが今、社会が大きく変わり、いわゆる良い仕組みが薄れてきています。数年待てば、また前のような社会が戻り、かつてのような仕組みができるかもしれません。しかし、今の子供たちにとっては、その数年は待てない数年です。

それならば、今、我々大人が子供たちに何を伝え、教えてあげることができるか。また、子供たちとともに行動し体験して、社会に出るための基礎として何かを経験させてあげることができるか。先生も保護者も、子供たちに接する機会のある大人が皆、それぞれが考え、感じ、待つことなく実践していく必要があります。子供たちの将来のためにも、社会の未来のためにも。

令和3年度 PTA 会長 近藤 勉

【新型コロナウイルスに関するお願い】

上伊那圏内でレベル5が発出された前後に、「職場で感染者が出た」「濃厚接触者と言われたわけではないが…」等の相談が多く寄せられました。

- ①家族が保健所から「濃厚接触者」であると連絡があった場合は、保健所から許可が出るまでお子さんの登校はできません。
- ②保健所から連絡は来ていないが、念のため検査を受けるように会社から言われた、家族が発熱した…という場合は、登校可です。しかし、ここ1か月間に連絡があったほとんどのご家庭が「最悪のケースを考えて、検査結果が出るまで休ませる」「家族の熱が下がるまで休ませる」という対応をして下さっています。宮田小学校で学級閉鎖や学年閉鎖の措置がなく、ここまで日常生活を送ることができるのは、保護者の方々のこういった予防措置のおかげと言っても過言ではありません。引き続き、学校からもこのようにお願いしていく予定です。

様々なケースがありますので、ご心配な場合は学校までご相談ください。休日は学校携帯へ。

あたたかい言葉が飛び交う学校

一緒に畑作業に向かう1年生と6年生。
「ねえ、〇〇先輩」と話しかける1年生。
「それは違うって。〇〇ちゃんって呼んでよ」と笑顔で対応する6年生。
さりげなく車道側に自分が移動し、1年生を守る6年生。

言葉だけでなく態度で「あたたかさ」を伝えている6年生。その姿を見ている1年生にはあたたかい心が生まれています。



ようこそ宮田小学校へ

6月1日よりALTの
スーラージ先生において
いただきました。

特技は「走ること」趣味は
「料理」だそうです。



楽しく英語の学習ができるよう、自分からも知っている表現で話しかけてみましょうね。

もうお1人も1学期中に来ていただく予定です。